

# そよかぜ 8月園便り

令和3年8月2日（月）

西東京市立そよかぜ保育園

梅雨が明けたと思ったら、ゲリラ豪雨に雷、そして雹が降ったり…となかなか安定しないお天気でしたが、8月に入りいよいよ本格的な夏到来！！

昨年は実施しなかったプール遊びも工夫しながら楽しんでいきたいと思えます。新型コロナウイルス感染防止はもちろんですが、熱中症にも十分気を付けながら、あまり暑くなり過ぎない時間帯にプールに入るように計画しています。

幼児クラスが入る仮設プールを今年は登降園の際の出入り口の前に設置しました。

- ・事務所からも様子を見守ることができ、より安全にプール遊びを実施する
- ・軒の部分があり、強い日差しを避けてプールに入ることができる

などの観点から今回の場所に変更しました。

2歳クラスは常設プール（5歳クラスのテラス前）に入ります。

0・1歳クラスは安全面、衛生面を考慮して一人ずつのタライプールで水遊びを楽しみます。

子どもたちが年齢相応に、大人の見守りの中で十分に自己を発揮して遊べる環境をこれからも作っていきたいと思っています。

先月の園便りで「子どもたちの**主体的な活動を大事に**したい」とお伝えしましたが、この「主体的な活動」や上記の「**自己を発揮して**」という言葉、サラリと使っているけれど何を言いたいのかしら…と思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私たちは普段の生活の中で、なるべく子どもたちが自分で考えてどうするのかを決められるような環境を作っていくようにしています。指示や命令の言葉は使わず、「どうするといいかな」など一緒に考えていくことで、子どもたちの**考える力**がついていきます。

やがて年長さんになる頃には友だち同士で自分の考えを伝えつつ、相手の考えにも耳を傾け、どうしていくのかを見つけていけるようになっていきます。…と言いつつ、これは今の時点ではかなり願望も入っていますが、就学に向けてこれからいろいろな力を蓄えていきたいと思えます。

十分に自己を発揮して主体的に活動できる心と体をしっかり育んでいきましょう！

## お知らせ

※配布した物のみ記載してあります

## クラス通信



暑い日が続き、いよいよ本格的な夏がやってきました。天気のいい日はタライを使って水遊び♪ じょうろから出る水を両手伸ばして触ろうとしたり、きらきらと輝く水を不思議そうに見つめたり…手でバシャバシャしたりと、**水の感触**を身体全体で感じながら解放感を楽しんでいます。

休息・睡眠・食事のバランスをとりながら健康に夏を乗り越えていきたいと思えます。

夏になるとみんなが大好きな歌に『**水鉄砲**』があります。歌いながら身体いっぱい使って、大きなたらいや小さなたらいで水を汲み、水鉄砲で飛ばす真似をするのですが、みんなで互いに水をかけ合っているふりをして大興奮です。(そのうちにみんなも、園で手作りしている竹の水鉄砲で実際遊びますよ)

また、砂山には緩やかな**ウォータースライダー**を作って遊んだり、**タライの水風呂**入ったりと全身で水の冷たさや気持ちよさを感じながら遊んでいます。

今月更に暑い日が続きますが、暑さに負けないように水分を取りながら、セミやひまわり等の自然に触れたり、水遊びを思い切り楽しんでいます。



ようやく真夏の暑さがやってきて、思い切り園庭での水遊びを楽しんでいます！**BIG タライ**に水を運んで、3~4人がギュウギュウになりながらお風呂のようにして入ったり、「**一緒に運ぼう!**」と大人を誘って砂山の上までバケツの水を一生懸命運んで流して池作り。そこから大ジャンプ!!暑さに負けず夢中になって遊んでいます。

以前は蹴って進んでいた三輪車も、いつの間にか座って漕げるようになっていたり、遊び以外でも積極的に大人のお手伝いをしたり、日々パワーアップしているすずめ組です！

今月はたくさんプールを楽しみます！



先月、ご飯を食べている時に、この夏初めての蝉の鳴き声に「蝉の赤ちゃん？」と聞いていた子ども達。次第に散歩の途中、鳴き声がうるさいくらいに聞こえて来ました。大人が葉っぱの陰に**抜け殻**を見つけ見せると、「どれ？」「どことどこ」と群がり、「気持ち悪い」「こわい」「怖くない」「触れるよ」「ちょうだい」とたくさん声が出てきます。そのうち自分たちで、「みつけた！ほら、ここに」「あ！ここにも」「ここにもいた」と二日連続で蝉の抜け殻探しに夢中に。実際に触れ、じっくり見ては「わー一足が固まってる」「背中に白い毛がある」「ここをやぶったのかな？」**観察力抜群**な子ども達です。そんな中、涼しい風が子ども達たちの髪や頬を撫でていき、まるで“絵本のワンシーン”のようでした。今月はプール遊びで全身を使って水遊びを楽しんでいきます。



ひばり

先月は雨の日が続き、室内で縄遊びやマット、リズム遊びをして身体を動かして遊びましたが、晴れた日にはお散歩へ行き、増え鬼や氷鬼を全力で走り回り、汗だくに。また散歩先ではたくさんの生き物に触れ合いましたよ。（今週金曜日の**HP**にて詳しくご紹介します）特に大きな出来事としては、あまり近くで見たことのない**蝉の脱皮**を見ることができ、とても貴重な経験！！大人が撮影した写真もすごくキレイで、図鑑の写真のようです。

本格的に暑くなりました。お散歩や水遊びもしてたくさん遊びます。



つばめ

先月から自分の空の水筒を持ってきて水分補給をしているはやぶさ組。朝の支度をサッと終え「お茶入れるね」と自分でお茶を入れています。朝のおやつ、活動と活動の間など飲む**タイミング**や**量**を自分で考え細目に飲んでいきますよ。

梅雨が明けて急に暑くなりましたので、短い時間となってしまいますが散歩に出掛け、いろんな遊びをどんどん取り入れています。

<増え鬼・しっぽ取り・ネコとネズミ（わらべうた）・島鬼

氷鬼・色鬼・靴取り鬼・リレー 等々>

いろんな遊びがとにかく楽しい日々です。また最近**ドッジボール**も始めました。

朝から汗びっしょりで、毎日**2.3回**シャワー浴びてます！

今月は、待ちに待ったプールが始まります。早寝早起きを心掛け、朝から水で顔を洗い、元気に朝のスタートを切りましょう！



はやぶさ

## 8月 園行事

12日（木）布団乾燥

27日（金）誕生会

## 8月は平和について考える月にしませんか

1945年8月15日 暑い夏の日 戦いの幕を下ろしました。沢山の尊い命を奪った暗い日々が終わったのです。私の故郷には戦死した叔父の立派なお墓にその活躍ぶりが刻まれ、「お国の為」と勇んで働かれたさ様子が記されています。「何のため？誰が？」等を口にするのも憚られ、抗することを許さない時代に胸が痛みます。あれから76年 歴史上の出来事として、どの位の方たちが記憶にとどめているのでしょうか。その出来事を語り継ぐ人も少なくなってしまうかもしれません。どのように取り繕っても「戦争に正義はない」し、為政者の思惑だけで舵を切ってはならないのです。

先日バツハさんが広島を訪れ、献花されたことが取り上げられ、広島が話題になるのは良いなとも思ったのですが・・・「黒い雨」裁判でも、取り戻すことのできない歳月に怒りをおぼえ、せめて十分に償いをと願うばかりです。

## はじめとおわり その2

## いただきます ご馳走様 のこと

「いただきます」 家族そろって楽しい時間のはじまりです。

大好きな〇〇を先に食べようとして、「ダメダメ、他の物一緒に食べてね。」とママ（パパ）の声。

「美味しいね」「お替り！」「聞いて 聞いて！」 楽しかった今日の出来事を話しながら、団らんの時を持ち、 ああ 美味しかった・・・と満足して 「ご馳走様でした。」

毎日繰り返されるものですが、再確認 「いただきます」と 気持ちを整えて食事を開始していますか？ 美味しく頂き満足して、「ご馳走様」と食事を終えていますか？

目の前の食物とその向こうにある生産者の事等に思いを馳せて・・・等と硬いことはともかくとしても、食卓に向かい、食事を終える。幼い子どもたちには案外難しいようすがなぜなのでしょう。

ミルクの飲み始めに、お口をふき、終えて満足感を感じながらお口を拭いてもらう。

手を洗い、準備をして食卓に向かい、「いただきます」と挨拶し、お腹を満たして、箸をおき、「ご馳走様」姿勢よく座り、足は床についていることを確認してみましょう。ダラダラ食べになっていないでしょうか。一定の時間で食事を終えましょう。ダラダラ過ごすのが一番よくないですね。

物事には必ず「はじまり」と「おわり」があります。

様々な場面で気持ちを切り替えながら事に向かう「力」を培っていく根っこの一つとして 食事に係ることを見直してみませんか。 **より良く食べて より良く生きる**

## 職員のつぶやき

たつの子に入職してから食に関する意識が変わりました。毎年恒例の行事となっている米作りは職員、保護者の方、地域の方の協力のもとで成り立っています。たった一杯のお米、たった一粒のお米を食べるためにどれ程の手間がかかるのか身をもって感じています。

今年は初めて種籾から発芽させ、苗を作り、無事に田植えまで終えることが出来て感動しました。手間暇かけて作ったお米は一粒でももったいなく感じるようになります。自分で作ったお米に限らず全ての食材に感謝するのは当たり前のことですが、改めて日々実感しています。